

り、仲介会社を通じたほうが楽だった」(岡さん)
副業を続けるにはスケジューリング管理が肝だ。本業で忙しい平日は避け、土曜日にとまとめてこなし、日曜日は休む。
「デザインを考えるのが好きなので、土曜日に働いて

資材調達経験生かし 平日夜はスポットコンサルト

仕事の経験や知識を生かしたコンサルトの道もある。大手建設会社の幹部で50代の男性は、昨年夏、専門知識を持つ個人に話を聞けるサービス「ピザスク」

も苦にはならない。自分の能力が社外で通じるのか確認できる喜びもある」
現在は月に2件ほどのペリスで請け負い、1件あたり10万円前後で、月に合計約40万円稼いだこともあった。もうけは貯金に回し、結婚資金の足しにした。

(東京)に登録した。ピザスクによるとアドバイザーは約3万人いて、7割が現役の会社員だという。
男性は資材調達の経験を生かし、これまでに3回、

スポットコンサルトをした。平日の夜に企業のオフィスや喫茶店で1時間ほど質疑応答する。
質問内容は資材の買い手が重視するポイントを聞かれることが多い。例えば住宅設備の場合、価格や省エネ性能、納期などいろいろな要素があり、優先順位を考える。どのような設備が求められているのか、長年の経験をもとに助言する。
「相手もプロなので厳しい質問をぶつけられる。それに答えることが、これまでの経験や知識の棚卸しになった。頭の中で曖昧になっていたことが客観的に整理で

きる」
手数料を引かれても1回あたり2万〜3万円の収入があった。家族からも外食や買い物に費用にまわせると期待されている。
注意点は業務上の秘密を漏らさないようにすること。自身の仕事に関することは、質問されても答えなくて構わない。
日本では、こうしたスポットコンサルトを長年行

コックとマンション投資 23年で総資産は1億円も

副業といえは投資で「不労所得」を期待する人もい

が、海外では広がっている。男性はピザスクとは別に、米国の企業からネットを通じて依頼があり、助言したこともある。
「会ったこともない人とネットで仕事の情報をやりとりすることは、日本ではまだ抵抗感がある。だが、経験豊富な50〜60代の会社員の意識が変わってくれば、スポットコンサルは拡大して行くはずだ」

産など対象はさまざまだが、中でも注目はマンションやアパートを購入し、家賃収入を得る人たちだ。
都内の大手企業に勤める男性(47)は、都心の中古マンションを扱う日本財託(東京)を通じて、10年前から投資している。最初は約800万円をローン会社から借りて、都内のワンルーム1戸を買った。家賃収入をもとに返済しつつ、徐々に追加で購入し、所有物件は8戸となり、うち2戸はローンを払い終わった。満室だと年間600万円超の家賃が見込め、60歳時にはすべてのローンを返済で

きる見通しだ。
「マンション投資は、すぐには使えるお金が入るわけではないが、時間をかけて資産をつくることができる。このままだけは60歳のときに総資産は1億円くらいになるはずだ」(男性)
日本財託によると、約6500人に中古マンションを販売し、管理を請け負っている。大半が会社員で定期的な収入がある人だ。給料が増えないが、老後に備えて収入を確保しようと考える人が多いそうだ。
「年金がもらえるのが65歳になるなど、サラリーマンも安泰ではない。投資には

リスクもあるが、何もしないよりはやったほうがいいと思つた」(男性)

空き部屋の民泊サービス 運用に必要な外注業者の存在

都内の金融コンサルト会社に勤務する34歳の男性は、1年半前から、空き部屋の民泊サービス「エアビアンドビー」を副業としていた。都内2カ所のうち1カ所は開始後7カ月で初期投資を回収したという。まず、不動産会社で「賃貸し可」の場所を探した。十数軒紹介された中で、東京スカイツリーに近い物件

不動産に限らず投資は「自己責任」。リスクを理解してやるようにしたい。

を見つけた。
次に初期投資。ダブルベッド、ソファ、机、白物家電などを約20万円で購入。礼金などを合わせて、約60万円の出費となった。準備した部屋は1泊1人40米(1人追加で17米)。利用者も多くは外国人で、特に中国人や台湾人など中華圏の利用者が多いそうだ。

「まれに「飲みに行こう」となったりする」(男性)
気を付けているのが、トラブルなどが発生した際の利用者への対応だ。電球が切れると急いで部屋へ向かう。仕事で忙し、清掃業者に慌てて連絡を入れる。
閑散期には値段を下げる工夫を重ね、1カ月の宿泊が半分を超えたら利益が出る。
「運用をうまくこなすためには、部屋のオーナーやマンション管理会社の理解、潤滑なオペレーション、信頼できる清掃業者など、外注業者を探すことではないでしょうか」(男性)

2017年3月31日号(A16-2991)

週刊朝日 168ページ

※朝日新聞出版に無断で転載することを禁止いたします。